

2021.01.28. 悪魔学 後編 Mac 牧師

さて、今晚は、ここカルバリー・チャペル・カネオへの木曜夜の学びへようこそ。JD・ファラグ牧師に代わって、歓迎します。普段は、旧約聖書を一行ずつ学びますが、でも、今夜は共に、題材の学びをします。題材の学びの後編ですね。しかし、その前に、心を込めて祈りの言葉を捧げ、今夜の教えに主へ祝福をお願いします。

愛する天のお父様、何と云えばいいのでしょうか。私たちはとても祝福されています。このような夜に、あなたの御言葉を聞くためここへ来ることができ、とても感謝しています。あなたがそれを祝福してくださいますように。私たちが学べることをすべて学び、御言葉のより良い管理者になれるよう、共に過ごす時間を祝福ください。また、主よ、私たちが出て行って、あなたが私たちに与えてくださる御心を行えるよう、よりよい弟子としてください。ですから今、主よ、私たちがあなただけに耳を傾けるとき、あなたが私たちの人生にはっきりと語ってくださいますように。救世主イエス、キリストの力強い御名によって祈ります。アーメン。

OK。始めましょう。今晚、主の御心なら、この題材の学びを完了します。

『悪魔学』

3週間前に前編が終わっています。内容を詰め込みすぎたというか、申し訳ありません。実際、妻に聞いたら、ある人が『どうやったらこれを1回の学びで完了できるのか不思議に思った』とコメントしたそうで、その人の言う通りでした。彼に電話して「そうですよね。」と言うべきでした。この題材は非常に広範で奥が深く、実際、2回の学びでも十分ではないからです。このような学びのシリーズとか、いろいろしている人もいます。つまり、その目的は、すべての人に飢えさせ、気づきと飢えを持たせることなので、自分でも調査や学びをしてくださいね。小グループで集まって、互いに啓発し合うことができるかもしれません。あなたがこの題材で発見したことは、繰り返しますが、私たちが行うことすべての主題であってはなりません。この題材の内容は、私たちが意識すべきことです。しかし、今夜も続けて、祈りながら、述べた通り、意図に沿うところまで行きたいと思います。それが私たちがしようとしている事です。主は私たちの学びに何を与えてくださるのでしょう。総集編を行わずとも、これだけは強調しておきたいです。一つだけ。

「悪霊は実在する」

奴らは、現実です。彼らの活動領域は広い。階級構造やヒエラルキーがあり、人々に与える影響も異なります。しかし、奴らは現実で、本当に実在します。そして、聖書の書き手たちは、それを明確に理解していました。時に私は、キリストの体が悪霊を信じていないことを感じます。または、それを真剣に受け止めずに歩んでいる人がどれだけいて、主との歩みの中で、私たちの成長を妨げるか。なぜなら、私たちは自分が攻撃されていることにさえ気づいていないからです。それで私たちは、こうした悪霊の存在の犠牲になっています。クリスチャンの心理学者が10年間にわたって行った研究があります。その結果、症例の50%以上が悪霊に関連していると結論づけました。これは深刻な問題です。そして、私たちはそのことに気づくべきです。信じない人は、自問自答してみるべきです。彼ら自身が影響を受けているのか？ 悪霊の存在を信じないため、それとも彼ら自身が悪霊なのか？ 奴らが実在することを知っている永遠の神の御言葉を信じる私たちは、この種の悪霊の活動を見極める霊的な目を持つよう祈るべきです。それを守るために私たちがすべきことを理解するために。また、これらの悪魔的存在に影響されたり、抑圧されたりしないよう、継続的に守られる事。3週間前、地球のシステム全体が悪霊の影響下にあるという話をしました。地球の全システムが悪霊の影響下です。そして間もなく、ほぼ完全に支配されることとなります。これが私たちが直面していることです。再度「第一ヨハネの手紙5章19節」を読みます。

—Iヨハネ 5:19—

私たち（クリスチャン）は神に属していますが、世全体は悪い者の支配下にあることを、私たち（クリスチャン）は知っています。

世全体です。だからといって、何もしないという意味ではありません。実際、私たちはそれ以上のことをしなければなりません。このような邪悪な組織がどのように機能し、それに対して何をすべきなのかを学ぶの

です。他の事同様に、神の御言葉で自分たちを守るために。しかし、私たちはシステムを変えようという考え方を持ってはいけません。そこに問題が生じるのです。システム全体が引き渡され、悪霊によって成り立つよう委ねられ、ただ、神によって破壊される。そして、これが実現します。神はそれをなさいます。これら随天使達は、高い所を支配しており、言わば国々が分裂して以来、それをしてきました。「創世記 6 章 4 節」に記されているネフィリムについて話しましたが、私たちは注意を払う必要があるのは、この節の最初の部分に書かれている点。神の御言葉は仰られます。

一創世記 6 : 4一

神の子らが人の娘たちのところに入り、彼らに子ができたそのころ、またその後も、ネフィリムが地にいた。

ネフィリムです。当時地上にいて、そしてその後も。洪水の後に。言い換えれば随天使たちは大洪水の前から活動していて、彼ら及びネフィリムとして知られる御使いの反乱から派生した悪霊的存在は、洪水後も活動することになる。これが、洪水の後、創世記 10 章にあるように、(人々が) 地上に分散して増えるために、70 の国々が召集された理由です。しかし、広がるのではなくバベルの塔と呼ばれる出来事が起こりました。「創世記 11 章」にあります。ですから、拡散する代わりに、彼らは一つの言語で話し、そしてこの塔を建てた。神は民を散らされました。なぜか？ なぜなら、彼らはまたしても邪悪な存在の犠牲になり、神に背き、自分たちのやりたいことをやったからです。一つの民になって天に手を伸ばし、神を呼び寄せ、自分たちの好きなように礼拝しようとした。彼らはどう喜んだのか。このバベルで、神は諸国民を散らされただけでなく、他の神々、つまり悪霊の支配下に置かれました。そして、すべて異邦人である諸国民の中から、ご自分のための民を召されるのです。時に、それが見逃されています。すべて異邦人です。神は異邦人の中から民を召されます。その目的は何だったのか？ その目的は、神だけが真の生ける神であることを世に証明するためでした。「創世記 12 章」にそのことが書かれています。「申命記 32 章 8 節から 9 節」に、これを語る主要な参考があると思います。今から読む七十人訳聖書に書かれています。御言葉を読みます。

一申命記 32 : 8一(七十人訳の直訳)

いと高き方が諸国民を分けられた時、アダムの子らを分けられた時、神の御使いの数に従って諸国の境界を定められた。

一申命記 32 : 9一(七十人訳の直訳)

そして、その民ヤコブは主の分け前となり、イスラエルはその嗣業の系統となった。

基本的に、この聖句は今話したことのすべてを物語っています。創世記にある当時の既知の世界では、70 の国々は、小さな神々に明け渡されました。悪霊の力に。それらはまったく神ではなかった。彼らは神とともにおらず、彼らは神に逆らっていました。これらは、使徒パウロが語っている支配者たちだと私は確信します。それらが、国々を支配しています。真の生ける神が拒絶されたから。だから、神は彼らを見放した。留意ください。主の嗣業(イスラエル)がエジプトに来たとき、覚えておいてください。彼らは 70 人でした。(出エジプト 1 : 5)

しかし、「出エジプト」で出て行ったとき、彼らは一つの民族として出て行きました。その背景には理由があります。これが、神の民が他のすべての国々に立ち向かう始まりとなります。ですから、彼らは見て、証しすることができます。神とは誰なのかを。よければ、「使徒の働き 17 章」を見てください。24 節から、画面に出して読むには少し長すぎますが、「使徒の働き 17 章」24 節から 27 節までを読みます。ここで見るのは、基本的に「申命記 32 章 8 節 9 節」の再現です。しかし、なぜこのようなことが起こったのかが、聖句に答えがあります。神の御言葉をお読みします。24 節、使徒パウロが語っています。

一使徒 17 : 24一

この世界とそこにあるすべてのものをお造りになった神は、天地の主ですから、手で造られた宮にお住みにはなりません。

一使徒 17 : 25一

また、何か足りないかのように、人の手によって仕えられる必要もありません。神ご自身がすべての人に、いのちと息と万物を与えておられるのですから。

一使徒 17：26ー

神は、一人の人からあらゆる民を造り出して、地の全面に住ませ、それぞれに決められた時代と、住まいの境をお定めになりました。

一使徒 17：27ー

(その理由は) それは、神を求めさせるためです。もし人が手探りで求めることがあれば、神を見出すこともあるでしょう。確かに、神は私たち一人ひとりから遠く離れてはおられません。

それが目的でした。言い換えれば、たとえシステム全体が邪悪なもの支配下でも、神はすべての人の近くにおられる。彼らがすべきことは、神を手探りで求めることだけ。それだけ。そんな小さなことです。人間には弁解の余地がありません。そのため、システムに影響を与えようとして時間を、言わば浪費してはいけません。私たちは、魂に影響を与えることに時間を費やさねばなりません。それが、私たちの召しです。私の記憶には、神はこう仰られたとはありません。「まず国を作り、それから弟子を作りなさい。」とは。私はその反対だと思います。⇓「すべての国民から、弟子を作りなさい。」だから、政治など、この世のことにとらわれるのは大きな問題なのです。大きな問題です。「悪を暴きますか？」そうです。悪を暴く。それはいいことです。とても尊い。悪を暴いてください。しかし、神が方向設定されたシステムをコントロールしようとするのは？ レンガを蹴るのはとても難しい。無駄です。それは間違った戦いです。時間の無駄です。そして、このシステムに身を置く私たちは、あの完璧な日まで、私たちはもっと輝き続けねばなりません。私たちがシステムの中にいる間に、魂に影響を与える。正しいことをしてください。悪を暴いて、

「蛇のように賢く、鳩のように素直でありなさい。」(マタイ 10：16)

誰もがその心得を知っているなら、それをしてください。でも、システムを変えようとしているなら、それは間違った戦いです。キリストへ魂を勝ち取ること。過去それらの国々すべてがそうだったし、こんにちの大多数の国々がそうであるように、彼らはあらゆる偽りの宗教と、人間に知られるあらゆる邪悪なものを代表しています。彼らは皆、悪霊に支配されています。米国も含めて。これらのシステムの中には、真の生ける神が御顔を背けておられるあらゆる暗黒の慣習が含まれています。前回の「悪魔学 前編」で、これらのうちのいくつかを話しました。しかし、このところこれらの慣習の多くは、ご覧の通り、融合し始めています。再梱包されているのか、あるいはみな同じだけど、ちょっと新鮮味を足す。このニューエージ運動は、あらゆる暗黒の慣習を集約しています。それに含まれる側面は、仏教、ヒンズー教、神秘主義、超越主義、グノーシス主義、異教、汎神論、オカルト主義、マインド・サイエンス、輪廻転生、スピリチュアル心理学、または「引き寄せの法則」と呼ばれるもの。ニューエージではこれは有名ですよ。非常に人気があります。自分がその中にいることに気づかない人もいます。あなたがどんな主義主張を持ち出そうとも、それはすべて悪霊的でしょう。このニューエージ運動全体は、悟りをもたらすことを目的とした信念と実践の集まりで、より高い運命へと意識を高める。自己を完全に知り、占いとオカルトの実践を組み合わせることで、人は自己の神性を獲得できると。そして、それが横行しています。英国なんて、まあなんということ、ここアメリカでも同様ですよ。簡単に見つけられますから。多くの牧師が説教壇の後ろで、この混乱を説いています。このいわゆる自己の神性を達成するために行われることは、すべて悪霊的ですが、少なくとも大きく3つあります。それらは、秘密の知識を手に入れること、肉体的な経験を超自然的な力で実現すること。ええ、悪霊です。そして結局、ある種の偶像崇拝のオカルト的实践です。それが、悪霊たちに支配されたこのニューエージ運動の主な目的です。

では、御言葉に敵対するのをひとつずつ見ていきましょう。言っておきますと、秘密の知識を得ようとする、あるいは得ることは、実に悪霊的だということ。悪霊的。どう悪霊的か？ なぜなら、得られる知識は悪霊からもたらされるものだからです。それが理由です。なぜそれがわかるのか？ そう、これは2つの異なる方法で分かっています。第一の方法は、これらの宗派にいる人々、秘密のこれらのグループにいる人々が、私たちに語るからです。彼らが私たちにそう言います。彼らはそれについて本を書いています。彼らは、これらの実体と様々な段階の接触があることを認めています。そして彼らはそれを誇りに思ってい

る。彼らの著書は棚から飛ぶように売れまくっている。これらの実体は、悪霊により知識を高められる様々な物理的成分や精神を変化させる薬物の使用を含み、超自然的な行為を行う方法の指示を受けることを可能にする。これは現実です。そして、この悪霊的知識によって、彼らは他の人々を訓練し、カルトや他の秘密結社、悪霊の新しい宗教的ねじ曲げ教義を作り出すことができます。そしてその中には、まるで高貴な始まりのような、実に巧妙なものもあります。しかし、その中には悪霊が織り込まれています。「ダニエル書 12 章 4 節」、神の御言葉をお読みします。

ーダニエル 12 : 4ー

ダニエルよ。あなたは終わりの時まで、このことばを秘めておき、この書を封じておけ。多くの者は知識を増そうと捜し回る。」

終わりの時に。これには聖書の知識も間違いなく、含まれると思います。また間違いなく、世俗的な悪魔の知識を語っています。増えていきます。そして、世俗的な悪魔の知識が増えるにつれ、邪悪さが増す。それがこんにち、私たちが目の当たりにしていることです。これらのグループはすべて、悟りのための秘密の知識を求めようとしていて、多くの人々はそれを受け取っています。誰から？ 光の御使いの仮面をかぶった者、そしてその小さな手下、悪霊たちから。どれも最終目的は同じで、誰もを動揺させるのに十分なものです。それは、彼らに加わる者を真の生ける神から遠ざけ、悪魔に縛り付けます。それが、これらすべてのグループの目標です。ウォッチタワー（エホバの証人）の創始者チャールズ・ラッセルはメイソンでもありました。イエール大学の秘密結社スカル・アンド・ボーンズ。調べたことがありますか？ 彼らは奇妙な慣習を行っています。卓越した知識を得るために。コーランの著者ムハンマド。ガブリエルと会ったと言う。彼がムハンマドに書くように言ったと。彼の神、アッラーの言葉を守るために。まったく神ではありません。悪霊です。そして陰と陽。基本的には宇宙論における哲学で、これを実践する人たちは、陰は冬至に影響力の頂点に達し、陽は夏至に影響力の頂点に達すると言います。それが何だか分かりますか？ 異教です。

メイソン。秘密の会合、悪魔的というだけでなく、神を冒瀆するような儀式が数多くあります。すべて悪魔の仕業です。私もその一人だったからそう言えるのです。悪霊的。

サイエントロジー。これには参りました。これは、信じていない人がするのです。一言で言えば、彼らがしていることは、過去を抑圧することで、人々を現実から遠ざけようとする。そして、彼らはこの新しい現実に啓発されるこれは作り話ではありません。それだけでも悪霊的。悪霊的でなければ、完全に愚かです。これはどうです？ 人智学/アントロポゾフィー。これは何なのか？ 私はこれを発音しようとして 15 回笑わなければなりません。物体の存在と知的で理解可能な精神世界の存在を主張する哲学で、人間の経験を通じて完全にアクセス可能であると。すべてはあちら側から情報を得るためです。彼らは皆、秘密裏に集まって、だからモルモン教徒も儀式を行い、握手やジェスチャーをします。彼らは、死んだら神のような存在になれると思っています。だから、自分たちが仕えていると信じる神への奉仕を反映させるのです。それから、このスカル・アンド・キー・ソサエティも、イエール大学のものです。自分で調べることができるし、スピリチュアルな領域の形の他のカルトもあり、同様に、非常にたくさんあります。それから、明らかな悪魔主義者がいます。彼らはアレイスター・クロウリーという教師にならい、もちろん悪霊の存在を認めています。これらの儀式を続けながら、それに関与し続けています。理解ください。これらのグループには多くの、本当に多くの影響力ある人々が属しています。政府高官、王族高官、そしてすべて悪霊的です。5 分もあれば、もっとたくさん見つかるでしょう。しかし、神は。私たちがこれらゴミである慣習の犠牲になったり、その中に閉じ込められ続けたりしないよう、民に理解を与えてくださいました。「申命記 29 章 29 節」、神の御言葉は仰られます。

ー申命記 29 : 29ー

隠されていることは、私たちの神、主のものである。しかし現されたことは永遠に私たちと私たちの子孫のものであり、それは私たちがこのみおしえのすべてのことばを行うためである。

神が私たちに知ってほしい思っておられることを、神は私たちが知るようにされます。問題は、あまりにも多くの場合、私たちは神が語られたことに満足していないこと。こんな感じで、

「主よ、私はそれを聞きたくありません。」そう、それは神の問題ではありません。それは私たちの問題です。神は、私たちが知るべきことすべてを教えてください。「アモス書 3 章 7 節」、神の御言葉をお読みします。

ーアモス 3 : 7ー

まことに、神である主は、ご自分の計画を、そのしもべである預言者たちに示さずには、何事もなさらない。

彼らは神の御言葉の全ご計画を語りました。私たちの誰もが耳を傾けるべき唯一の霊によって。それが聖霊です。それ以外の言いくるめる霊は、神から出たものではありません。悪魔からです。「ヨハネの福音書 18 章 19 節 20 節」、

神の御言葉は語ります。

ーヨハネ 18 : 19ー

大祭司はイエスに、弟子たちのことや教えについて尋問した。

ーヨハネ 18 : 20ー

イエスは彼に答えられた。「わたしは世に対して公然と話しました。いつでも、ユダヤ人がみな集まる会堂や宮で教えました。

何も隠れて話してはいません。何もあられません。聖書に、私たちのための全てがあります。だから、ああいうちょっとした番組がはじまったら、聖書の隠された秘密、第三の隠された書物、"隠された"の箇所を "悪霊の"をつけてください。流行りのガラクタです。私は祈ります。すべての人々が、これらのグループの一員にならないように、また、今そうなら、そこから抜け出せるように。あなたがクリスチャンで、説教壇の後ろから、スピリチュアリティや自己神聖化、瞑想などのレベルを促進する教えを聞き始めたら、保証できます。イエスはその建物を去り、悪霊どもが入ってきたと。ニューエイジは問題です。こうしたものはすべて悪霊の教義です。知識が増えるにつれて福音のメッセージのシンプルさが、シンプルすぎると思われる。人々は啓蒙されすぎている。これに拍車をかけているのは、説教壇の後ろにいる多くの人々が知識レベルを上げていない事実です。福音のメッセージと神の御言葉の全ご計画を説明するための。多くの場合、私たちがちゃんと教え、神が私たちの前に置かれた仕事をするなら、聖霊は神の御言葉を通して、人間に知られているどのような悪霊による行為にも勝るような経験をまさに与えてくださるでしょう。説教壇の後ろにいる人々は、羊を養うよう言われているのです。羊を養う。思うに、誰かが混乱してわらをもつかむ思いで、こう言う。「さあ、羊さん。」羊は走り回っていて、骨が浮き出るほど飢えている。それだけでは不十分です。では、彼らはどうするのか？ このように神の群れを養うことが欠けていて、多くの人々が悪魔のご馳走に向かう。そして、彼らはそれを食べ尽くす。「箴言 27 章 7 節」、神の御言葉が仰られます。

ー箴言 27 : 7ー

満ち足りている者は蜂の巣の蜜も踏みつけ、(もう食べられない) 飢えている者には苦い物もみな甘い。

それを神の御言葉に重ね合わせてください。あなたは外に出て、それを食べる。お腹が空いていれば、どこかで何か食べようとする。悪霊たちはそれを知っています。私たちが霊でできていることを彼らは知っています。霊的なつながり、神の糧が必要です。しかし、自分自身を求める霊的経験ではありません。悪霊がそこにいるからです。奴らがそこにいます。人が、スピリチュアルであること、瞑想すること、思考の解放を論じるとき、故意でも無意識でも、こんなことをする人は、こういう幽体離脱をするよう自分自身を仕向けています。これはひどいものです。これは基本的に、肉体から霊を切り離そうとするものです。訓練で。聖書は「第二コリント人への手紙 5 章」7 節から 8 節で、このように語ります。御言葉をお読みします。

ーII コリント 5 : 7ー

私たちは見えるものによらず、信仰によって歩んでいます。

ーII コリント 5 : 8ー

私たちは心強いのですが、むしろ肉体を離れて、主のみもとに住むほうがよいと思っています。

では、考えてみてください。聖書のいくつかの箇所と同じで、このことが私に教えるのは、私たちは死によって霊が旅立ち、神がそのプロセスをコントロールなさるということです。神がそのプロセスをコントロールされます。私たちではありません。使徒パウロが第三の天に召されたとき、それをしたのは彼ではありません。神がなさいました。ヨハネも同じです。それは人間が始めたことではありません。要点は分かりますか？ 人がそのプロセスをコントロールしようし、肉体を離れてしまい、それが成功すれば、彼らは主の御前ではありません。彼らは悪霊の前にいます。これは悪霊的なものです。このゴミに手を出した多くの人の話しの通り、起こったことは、悪霊の存在や実体に体を弄られ、凌辱され、文字通り取り憑かれた。あらゆる変なことが起こります。健康問題や、幾人かは気が狂った。半身不随で呼吸ができない人もいて、数え上げればきりがありません。そして、これらはマインド・ゲームではまったくありません。このような禁断の行為に人々が飛び込むと、まさにそれが起こります。そしてクレイジーなのは、悪魔崇拝者がこれを実践していること。それが彼らの仕事です。だから、人々は、、、、考えてみてください。しかし、彼らがそのことを考え、心配しているようにはまったく見えません。彼らは永遠の命ではなく、その経験を求めています。

「今、その経験をしたくてたまらないんだ。」悪霊的です。2、3年前のニュース記事ですが、インドで起きた事件です。

ー引用ー

「未成年の少女（14歳だったと思います）が自殺した。彼女は幽体離脱を試み、遺族が話した通り、ここ2、3日、ユーチューブで幽体離脱に関連する動画を見ていた。さらに、彼女は以前にも、未遂に終わったが、助かったことがあると付け加えた。（その方法は分かりません。）警察は、被害者の携帯電話から幽体離脱に関連する動画をいくつか発見した。この事件は、昨年デリーで起きた一家11人が自宅で死亡しているのが発見された事件を思い出させる。そのうちの10人（11人中10人）が、7月1日、天井の鉄網に吊るされているのが発見され、77歳の遺体は家の別の部屋で床に倒れているのが発見された。警察は11冊の日記を発見し、そこにはアストラル・トリップを通じて神への道に到達するという心理的な考察や文章が書かれていた。」

これらの人々は、悪霊の邪悪な霊的手によって死んだ。すべては悪魔的行為の実践のせいです。悪魔崇拝者たちはこのことについて非常に明確です。彼らはこのすべてを明確に説明しています。神殿で礼拝する悪魔崇拝者たちです。引用します。

ー引用ー

「悪魔のアストラル寺院は、あなたが望むあらゆる形の魔術儀式に従える場所である。悪魔を召喚し、サタンのために儀式を行い、エネルギーを好きなように形作る場所だ。五芒星は、悪魔の次元へのある種の普遍的な入り口なのだ。私は自分自身や他人の幽体にヒーリングテクニックを施すことができる。」

これが彼らが実践していることです。人々はこの体外離脱のようなものに翻弄されます。危険は承知でそうしています。その多くは、人々がスピリチュアルな体験を強く求めているから。2、3年前のピュー世論調査で、お聞きください。

ー引用ー

「アメリカでは無宗教者の30%がスピリチュアルだと答えた。」

それを考えてみて下さい。ここにはすでに十分な数の悪霊たちが走り回っている。30%が、スピリチュアルだと主張している。彼らの実践次第で門が開かれる。そして2、3年前の英国、B級映画でした。大スクリーンで見ることさえできない。すべてにおいて低予算のB級映画。この映画でウイジャボード（欧米版コックリさん）を表示。映画の後、アマゾンでのウイジャボードの売れ行きは300%上昇しました。スピリットボード、ウイジャボード。悪霊のボード。悪霊は偶像として崇拝されるとき、作り出されたイメージを通して話すことができる。そして、このニューエイジ運動が自己の神性を賛美しているとしても、イエス・キリ

スト以外のすべての神々の容認です。イエス以外は歓迎。嬉しいです。誤解しないでほしいけど。どのみち私は行きたくありません。しかし、それは何を物語っているのか？ この運動の多くの人々は、被造物に指示を求め、そうした悪霊的な影響力をのさばらせ、人生を台無しにする機会を与えています。手口を覚えておいてほしい。

盗み、殺し、滅ぼす。(ヨハネ 10:10)

それが最終的に彼らがすることです。たとえ一生かかっても。それが悪魔がすることです。「第一コリント人への手紙 10 章」、18 節から 22 節、神の御言葉をお読みします。

—I コリント 10:18—

肉によるイスラエルのことを考えてみなさい。ささげ物を食する者は、祭壇の交わりにあずかることになるのではありませんか。

これはとても重要です。19 節、

—I コリント 10:19—

私 (パウロ) は何を言おうとしているのでしょうか。偶像に献げた肉に何か意味があるとか、偶像に何か意味があるとか、言おうとしているのでしょうか。

—I コリント 10:20—

むしろ、彼ら (異邦人) が献げる物は、神ではなくて悪霊に献げられている、と言っているのです。私は、あなたがたに悪霊と交わる者になってもらいたくありません。

言い換えれば、対象物そのものが対象なのではありません。悪霊的存在につながる行為です。それが問題です。偶像自体は何でもない。食べ物には意味がない。でもその行為 (慣習) が問題です。そして、人々は質問したがりです。「じゃあ、どういう方法が?」「それはどう見えるのか?」私のシンプルな答えは、神がそう仰っているからです。その仕組みについて量子物理学的に説明する必要はありません。実は、私たちを守っておられます。神が計算方法を教えたなら、誰かがそれを使うだろうから。もしそうだったらね。でも簡単に言えば、私たちが主に祈るとき、私たちは主に祈っていることを知っていますね? 私たちは理解していませんか? 私たちはその仲介者を信じているでしょ? なので、それらがどんな偶像であろうと、必ずその背後には悪霊がいます。聖書はこのことについて明確に語っています。ですから、ニューエイジは、いわゆるスピリチュアルな旅に出ると言いますが、結局は悪霊の群れとともに戻ってきます。荷物がたくさんあって、問題がたくさんあります。しかしながら、他のケースでは、ご覧のように、人々は悪霊のしわざ全体に接ぎ木されます。そういう人たちは、高く持ち上げられ、本を書き、とてもうまくやっています。また不思議なことに、彼らは病気にもならない。多くがね。そして彼らの多くは長生きする。それはヘルスケアのせいではありません。このような支配者たちが働いていて、こんにち、よりあからさまになってきています。皆さん気づきませんか? これからも続くでしょう。繰り返しますが、おもな理由のひとつは、知識が増えているからです。しかし、その知識はどこから来るのか? そのことを考えたことがありますか? つまり、世の中にはとても頭のいい人たちがいます。分かっています。私は彼らの仲間でないし、嫉妬もしません。時にそれが自分を守ることだと思っています。しかし、その知識はどこから来るのか? スティーブ・ジョブズが画期的なコンピューターを開発する前、彼はインドに行ったそうです。空中に現れた教祖に出会い、この教祖は 18 歳で、父親も母親もおらず、自分は人類を助けるためにここにいる天人だと主張した。そしてこのことは、彼のパートナーたちによって裏付けられています。ヒストリーチャンネルでも、2、3 年前、特集が組まれました。スティーブ・ジョブズだけではありません。JD 牧師と私は先週、このことについて少し話しをしました。多くの偉い人たちが、ある人たちはエイリアンと呼びますが、実際は悪霊たちから指示を受けています。それが彼らの正体です。トランスヒューマニズム。これは現実です。そして、急速に進化しています。コロナがそれを助けました。これはあらゆる医学の進歩に収斂されていきます。見て驚きます。彼らはナノテクノロジーを使う。それは物事を変化させるだけでなく、私たちが知っている私たちの性質を完全に変えることができます。人間の知性や生理を大きく変化させたり、向上させたりできる高度な技術を開発し、広く利用できるようにすることによって、人間の状態を変革することを提唱す

る哲学的運動。トランスヒューマニズム。インディア・タイムズ紙によると、彼らはこのような見方をしています。

ー引用ー

「しかし、トランスヒューマニストは、単に人間の寿命を延ばそうとしているではありません。彼らはまた、復活を望んでいます。彼らは生体工学、AI 機能、3D 印刷を融合させ、私たちが今まさに直面しているパンデミック似の大惨事の犠牲者を復活させる事を目指しています。愛する人を失った悲しみに対処する方法は、対話型の特注ホログラムや、古いメッセージの雛形に基づいて新しいメッセージを生成できる AI 搭載ソーシャルメディア・フィードなどの手段で、なだめることが可能。そしてまもなく 実際の肉体も。」

誰かを失った人には、これらのアイデアのいくつかは、崇高に見えるかもしれませんが、しかし、それらは悪霊的です。これらすべては悪霊からの指示です。神は唯一、命を与え、命を取るお方です。人間がこれを達成することは決して許されません。決して。もうひとつ、よく否定されるのが UFO とは何か？ ええ、私が言いましょ。多くの場合、もちろん、UFO はフィクションではありません。ただ名称が間違っています。それだけです。あなたが目撃しているのは悪霊です。悪霊の活動です。何年も前、パイロットはよく叱責を受けたものでした。そして何人かは、自分たちが見たことを一般大衆に話し、解雇されました。しかし、この5年間は、なんてことでしょう。すべてのパイロットがすべてを口にし、そしてそれが放置されています。どこにでもあることになっています。ほとんど、彼らは、世界を準備させているようなものです。分かりませんが。でも皆さん、それがわかりますか？ 聖書が語っている通り、サタンは空中の権威を持つ支配者です。「エペソ人への手紙 2 章 2 節」です。そして、こうした天体の、あるいは説明のつかない宇宙の活動や不具合は、いいえ、私が説明しましょ。それらは闇の意味、悪霊的です。これら全てのテクノロジーと、人間がただ神を求める事を怠っているという事実。悪霊は人の心を見抜くため自由に接近できます。悪霊たちは多くのことを知りたがっています。ただし、彼らが知るべきこと以外は。「第二コリント人の手紙 4 章」、3 節から 4 節、神の御言葉をお読みします。

ーII コリント 4 : 3ー

それでもなお私たちの福音に覆いが掛かっているとしたら、それは、滅び行く人々に対して覆いが掛かっているということです。

ーII コリント 4 : 4ー

彼らの場合は、この世の神が、信じない者たちの思いを暗くし、神のかたちであるキリストの栄光に関わる福音の光を、輝かせないようにしているのです。

これ（神のかたちであるキリストの栄光）が、私たちが礼拝すべきイメージです。このイメージ。イエス・キリストこそ、真の生ける神の姿（イメージ）そのものです。こんにち、何が起こったか？ おお、悪魔の所業の大転換です。主が予告されたように、大衆が獣の像を拝むための条件を整えています。それが彼らの選択です。聖典が教えているので、私たちはそれを知っています。

「わあ、すごい、真の生ける神のイメージなんだ。」でも、あなたはその代わりに獣の像に落ち着こうとする。以下の解説者の表現が、最適を語っていると思います。引用します。

ー引用ー

「私たちには知性と自由意志が与えられており、永遠に神を愛し、自発的に神に仕えたいと願うか、文字通り悪魔のもとに行くかを自分で決めることができる。ルシファーが神の至高性に反旗を翻して以来、起こったすべてのことを私たちがするなら、試されることなどない。信仰によって、聖典、預言者たち、イエス・キリストを教えることで、私たちは、自分の頭の理解を超えた真理を信じ、受け入れなければならない。プライドではなく、謙虚さを実践しなければならない。謙虚で、信じ続ける者は神を見ることができ、高慢になり、自分自身の小ささと限界の感覚を失って、知識で己を膨らませる者は神を見ることができず、悪魔の下へ行くのだ。」私たちには、この悪霊的なゴミから抜け出す方法があつて本当によかったです。キリストに目を向け続けることです。神の御言葉はすべてを語っています。それをうまく活用し、他者を群れの仲間、

善良な仲間に入れられるためにベストを尽くす。聖霊の力で、真の生ける神の言葉によって、真理が誰であるかを世に示していただくのです。なぜなら、聖書の御言葉以外のものはすべて嘘だからです。最終的に、それは嘘です。99.9%真実だったとしても、十分ではありません。結局、(嘘への)長い列に過ぎません。それがすべてです。私たちにそれは必要ありません。私たちに真理があるのだから。じゃあ、ご起立ください。祈りましょう。

天のお父様。もう一度、主よ、本当にありがとうございます。あなたの御言葉は素晴らしいです。あなたの御言葉のおかげで、あなたが仰った通りにこの時代が暗くなっても、私たちは立てるのです。でも、あなたはいつも私たちを守り、保ってくださいます。あなたがとてもご忠実だと知っているので、私たちは何の恐れもありません。ですから、主よ、私たち一人ひとりにあなたがお持ちのご計画を、私たちが実行し続けることができるよう、私たちの人生の中で、私たちの人生を通して働き続けてくださいますか？ 私たちは、それぞれ帰路につきますが、今夜あなたが私たちに語ってくださった全てを、来たるべき王国のために、それを活用できるよう、私たちの胸に刻んでください。私たちはあなたを愛し、あなたを賛美します。救世主イエス・キリストの力強い御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7